



祇園町商工会報

第89号

商工会法施行50周年記念号

平成23年1月7日 発行

祇園町商工会

広島市安佐南区祇園2丁目48番7号

(安佐南区役所祇園出張所2F)

TEL (082) 875-3476

FAX (082) 875-6245

題字 祇園町商工会 桑本義弘会長



年頭のごあいさつ

祇園町商工会 会長 桑本義弘

あけましておめでとうございます。会員の皆様には、清々しい新春をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

また、平素から、商工会の運営・事業活動に、格別のご支援とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年は、「日本企業の海外移転」、「中国・韓国などアジア企業の躍進」、「アジアの優秀な人材」など、「アジアの成長」に関する話題が多い年でした。

また、これまで、「最先端の技術」・「優秀な人材」・「競争優位の企業」という言葉のあとは、「日本」でしただが、「中国・韓国・アジアの新興国」に変わりつつあり、「日本」は閉そく感が漂う「少子高齢化で消費拡大が望めない」・「教育で遅れをとった」との表現が目につきました。とりわけ、「平成二十三年(2011)年の大学生の就職内定率は57・6%で、就職氷河期(1993~20005年)の中で最も低かった、2004年の60・2%をも下回った」というのは、あまり喜ばしくない報道で

した。

しかし、三〇〇人以下の中小企業における学卒者の求人倍率は、四・四一倍(五、〇〇〇人以上の大企業は、〇・四七倍。リクルート社調べ。)と言われています。優秀な人材確保のチャンスかもしれません。

また、昨年同様、安佐南区は「県下トップの人口増加地域」を維持しています。十月までの一年間、広島県では約四、三〇〇人減少しましたが、この地域は約二、三〇〇人増えています。中でも祇園地区は最も多い約一、二〇〇人の増加です。

今後も、国内で事業展開していくかざるを得ない私ども小規模事業者にとっては、悪い経済環境の中にあつても、弛まぬ活動を展開していけば、新たな発展可能性が見えてくる、将来性のある地域ではないでしょうか。本年度は、昭和三十五年に商工会法が施行されて五十周年を迎えることから、全国や県の商工会連合会などで記念行事が行われました。祇園町商工会でも、「祇園商工フェスティバル」が第三十回という記念すべき節

目を迎えたことから、広島経済大学との協働を企画し、「興動祭」との同時開催を実施しました。「フェスティバル」のイベントにも「自動車ショー」や「神楽」など新たなメニューを加え、チラシもカラーの大版にして、新聞折り込みを行うなど、協賛いただいた事業者の皆様の広告・広報にも努めました。

二つの祭が相乗効果を発揮し、ほぼ一日中雨という天気にもかかわらず、約八、〇〇〇人を超える方々にご来場いただきました。

武田山のお殿様キャラクター「たけちやま」も、子供から大人まで地域の皆様のマスクットとして定着してきたのではと感じています。

祇園町商工会は、事業者の皆様との業務上のご相談に加え、「さわやかに、こころがふれあうまち ぎおん」を合言葉に、人・物・情報の交流の場を提供するなど、引き続き活発な事業を展開して参ります。皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

終わりにになりましたが、祇園町商工会の業務運営を適切かつ効果的に進めていくため、今後とも、会員の皆様をはじめ、関係各位のご助言とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様方のますますのご発展とご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶と致します。